

## 仮想通貨の分裂

株式会社日本総合研究所 副理事長 翁百合

7月から8月初旬にかけて仮想通貨が話題を集めた。仮想通貨の代表格である「ビットコイン」が分裂する、ということで注目を浴びたのである。一体、これは何を意味しているのだろうか。

仮想通貨は、中央銀行を持たないサイバー空間上のデジタル通貨である。世界の誰でもそのネットワークに参加できて、仮想通貨を自分のスマートフォンを使って直接相手へ簡単に送金できる利点がある。ビットコインは中国で多く使われており、日本でも価格値上がり期待から購入する人がほとんどだった。最近では決済に使える飲食店なども増えてきた。

今まで、私たちが銀行経由で海外に送金する場合、仲介コストが高かった。仮想通貨は直接個人と個人でやりとりできるから、安いコストで送金できる。一方で、仮想通貨は、送金が完全に確定するまでに実は時間がかかる、また、あまりに取引が膨れ上がると対応できなくなるなど、多くの課題が指摘されてきた。

ビットコインの価格変動は大きく、2017年に入ってから大きく値上がりしている。このため、ビットコインの取引が大きく増加

し、早速、大きな課題に直面してしまった。大量の取引をどのように対処するか、参加者間で話し合われてきて、いったんひとつの手法で解決しそうになった。だが、これに反対する一部参加者たちが納得せず、8月初旬にビットコインは分裂したのである。

このように仮想通貨を発行しているのは国ではないため、想定できなかった新たな課題に直面したときの解決方法などは、今後の課題である。

技術革新の動きは、様々な新しい課題を私たちに突きつけながら、金融の風景を変えつつある。

2017年9月20日